

授業科目名・形態	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	藤田 碧	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

公衆衛生看護は、個人や家族の健康課題とコミュニティの健康課題を連動させながら、人々の生活に視点をおいた支援を行います。この活動と表裏一体をなす地域アセスメントについて学びます。地域に顕在・潜在している健康課題を見出し分析し、地域特性やヘルスニーズに合わせた方策を立案する一連の活動の展開について学修します。

【到達目標】

1. 公衆衛生看護過程における地域アセスメントの意義について説明できる。
2. 地域アセスメントで着目する量的情報について、主要な項目とその内容、関連する既存資料を列挙できる。
3. 地域アセスメントで着目する質的情報について、代表的な調査方法と特徴を説明できる。
4. 演習を通じて地域の健康課題を見出して評価し、実情に基づいて説明ができる。
5. 公衆衛生看護過程における事業化・施策化の過程を考察し説明できる。

【授業計画・内容】

第 1 回 講義：地域アセスメントの概念と理論モデル	第 9 回 講義：地域保健計画（事業化・施策化）
第 2 回 講義：地域アセスメントに必要な量的情報	第 10 回 講義：地域保健計画（評価・PDCA）
第 3 回 講義：地域アセスメントに必要な質的情報	第 11 回 事業量の見積もり
第 4 回 演習：量的情報の収集と分析（地域全体の姿）	第 12 回 演習：保健活動計画（事業計画）の作成
第 5 回 演習：量的情報の収集と分析（人口統計）	第 13 回 演習：保健活動計画（事業計画）の作成
第 6 回 演習：量的情報の収集と分析（各種健康指標）	第 14 回 演習：保健活動計画（事業計画）の発表
第 7 回 演習：地域の健康課題の把握・考察	第 15 回 演習：保健活動計画（事業計画）の再考
第 8 回 演習：地域の健康課題の把握・考察	

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

教科書をよく読むこと。報道や日常生活で、人々の健康課題に関する政策について関心を持つこと。

【主な関連する科目】

公衆衛生看護学の科目全般

【教科書等】

佐伯和子ほか：公衆衛生看護学テキスト 2 公衆衛生看護の方法と技術第 2 版、医歯薬出版株式会社、2022
厚生統計協会編「国民衛生の動向 2023/2024 年」2023.

【参考文献】

佐伯和子：地域保健福祉活動のための 地域看護アセスメントガイド 第 2 版 地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案、医歯薬出版株式会社、2018

【成績評価方法】

筆記試験 85%、課題レポート・演習への取組等 15%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

行政保健師経験を活かして地域の健康状態を広く把握する手法を伝えていきます。

【学生へのメッセージ】

主体的な演習により実践能力が身につく科目です。地域の健康課題を見出すために、一見異なって見える性質の情報を集め、横断的に考察する過程を学びます。継続的に考え続ける学修スタイルを今まで以上に高めていきましょう。また、暮らしている地域や出身地について、健康課題を見出す意図をもってみつめなおし、公衆衛生看護の思考過程を習得しましょう。